

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	小池・若松・大塚・泰中生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		8			8

前回の改善計画

『ご本人を知ること』をスタッフで意識する。知ることでご本人・ご家族とのかかわりの中で、何が必要なのが見えてくる。それをスタッフ間で共有し検討する。ご本人・ご家族がサービスを利用するにあたっての困りごとや不安を把握できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

新規ご利用者はフェースシートをしっかりと確認し対応した。情報をケース記録やスタッフとの話、送迎時にご家族や日ごろのご本人との関わりの中で『知る』ことを意識した。ただ日々の業務に追われて十分にできないこともあった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7	1		8
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8			8
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	7			8
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8			8

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○利用前にホーム長、ケアマネジャーにて情報収集を行いフェースシートや基本情報の資料を作成しスタッフ間で共有している。
○ご本人が不安にならないよう雰囲気作りをし、表情をしっかり見て声かけを行った。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

○自身の担当ご利用者以外の把握ができていなかった。○関わりについてスタッフ一人一人が知ろうという意識が低いように思う。
○情報収集したがフェースシートなどに新しいことを記載できていなく共有が遅れてしまった。
○ケアマネジャー個人として初期支援の段取り不足が見られた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

『ご本人を知ること』を継続して行う。それをスタッフ間で共有し検討する。ご本人・ご家族がサービスを利用するにあたっての困りごとや不安を把握できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	小池・若松・大塚・泰中 生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		7	1		

前回の改善計画

○ご本人の「～したい」を引き出せるよう、今行っている取り組み、各スタッフが日々の関わりの中で想いを引き出す関わりを心掛ける。
○毎月の各利用者担当の評価を活かせるように取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

モニタリングの中身やケアプランを意識しご本人の「～したい」を引き出せるように関わりや記録に残すように心がけた。しかし毎月の評価を活かしきれていなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？		8			
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8			
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		7	1		
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		7	1		

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○ご利用者のしたいことをプランに基づき行うように心がけた。
○日々の関わりの中で「～したい」にも変化があるためスタッフ間での共有を心がけた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

○各担当者の気づきの共有が抜けてしまうことがあり反映できていない。
○ご利用者の1か月の評価をスタッフが出しているがケアマネジャーにて確認ができておらず、次に活かすことができなかった。
○日々の業務に追われて関わるができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

前回と同様に

○ご本人の「～したい」を引き出せるよう、今行っている取り組み、各スタッフが日々の関わりの中で想いを引き出す関わりを心掛ける。
○毎月の各利用者担当の評価を活かせるように取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
3. 日常生活の支援	メンバー	小池・若松・大塚・泰中 生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		8			8

前回の改善計画	日々の関わりの中でご本人の状況や想いをスタッフ間で共有し理解をし支援をしていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	ミーティングや日々の業務を通じてスタッフ間共有はできていた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？			8		8
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		8			8
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		8			8
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		8			8
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		8			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ○ご利用者の状況に合わせて出来る限り対応している。 ○体調の変化などはその場のスタッフで相談したりホーム長へ連絡をし即時的に支援、対応できている。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ○生活環境の把握はある程度できているが、以前の暮らし方を10個以上となると難しい。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新年度からの月1回のミーティングにおいて自己評価1, 2と共にその人を知ることをテーマに話し合いの場をも受け理解を深める取り組みを行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小池・若松・大塚・泰中 生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		8			8

前回の改善計画	ご本人やご家族より地域との関わりや生活スタイルについても情報収集していく。また必要であれば対応できるよう把握に努める。地域で暮らすご利用者にとっての地域資源はどんなものがあるかなどスタッフに伝え、みんなで知る事、見つけていくことが出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人やご家族との会話の中で生活スタイルや地域との関わりを知ることができた。コロナ5類になってからご利用者が関わってきた地域資源の活用なども少しずつでき始めた。スタッフでの地域資源を見つけることなどはできていなかった為もっと理解を深めれるようにしていく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		7	1		8
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		8			8
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		6	2		8
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2	6		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○昔からの習い事や美容室、病院への送迎など、その方の地域との関わりが切れないようにしている。	
○モニタリングや送迎時にご家族にも聞いたりしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
○ご本人の地域での生活や交友関係などまだ知らないこともたくさんある。	
○スタッフが地域の資源を把握できていない。	
○地域を意識した日々の接し方ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご本人やご家族より地域との関わりや生活スタイルについて情報収集行い共有していく。又、地域で暮らすご利用者にとっての地域資源はどんなものがあるかなどスタッフみんなで知る事、見つけていくことが出来るようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小池・若松・大塚・泰中 生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		7	1		8

前回の改善計画

今後も日々の関わりや記録を通して、ご利用者の変化に気づき、スタッフ間でミーティングを通じてもっと話し合いをし、ケアや支援に活かしていく。またご利用者にとって活用できる地域資源を知る事、今まで活用できていなかったことも活かせる可能性を見つけていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご利用者の変化など日々の観察よりスタッフ間での共有をミーティングや記録を通じてできている。新しく(対象者への)障がいでの就労支援や一人暮らしの方への配食サービスなど、今まで活用できていなかった支援を行うことができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		8			8
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		8			8
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？		8			8
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		8			8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 地域資源(かかりつけ医、訪問看護、福祉用具、薬剤師、訪問理美容、訪問歯科、配食サービス等)を活用している。
- 急な利用や宿泊など状態に応じて柔軟な対応はできる限り行っている。
- ミーティングや記録などで共有できている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ご家族の介護負担軽減も必要であるが、そのニーズが中心となりどこまで対応すればよいかの判断に困る。
- 柔軟な対応を心がけているが過剰になっていないか、等の判断に困る。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

出来ていない点を踏まえ、柔軟な対応が過剰になっていないかなども検討できるようにしていく。今後もご利用者の変化に気づきスタッフ間での共有を欠かさず行っていく。どうしても抱え込んでしまいがちであるが、自分たちだけでなく周囲にもっと目を向けて使える資源の活用をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
6. 連携・協働	メンバー	小池・若松・大塚・泰中生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		6	2		8

前回の改善計画	コロナ禍もあるが地域行事や会議なども開催されてきている。感染対策を十分におこない無理のない形で参加し、地域や他サービス機関との連携も図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナも5類となり地域行事などはどんどん開催されている。ホームとして参加できそうな行事などは参加出来るようになってきた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		1	7		8
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	6	1	8
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		2	5	1	8
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			7	1	8

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>○ホームでのつどいの開催はできていないが地域でのサロンや行事などは参加し始めるようになった。</p> <p>○その他サービス機関との会議は行えていないが直接話をしたり、照会などを通じて情報を得ている。</p> <p>○地域住民(ご利用者の友人など)は来苑される。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<p>○増えてきた地域行事に対して、日々の業務に追われ(人員不足により)参加したいと思っても出来ないことがある。</p> <p>○感染症のこともあるため積極的に地域住民が訪れることは難しい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事業所へ訪れてもらうことはまだ難しいが、地域行事への参加は積極的に行っていけるよう取り組む。また地域の会議などの参加も連携面において参加できるよう取り組む。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
7. 運営	メンバー	小池・若松・大塚・泰中 生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		8			8

前回の改善計画	苦情まではいかななくても頂いた意見は軽視せず、よりよい運営になるよう取り組んでいく。ミーティングや日常の仕事の中でみんなが意見をいえる環境作りを行う。再開される地域行事においては参加できるようにしていきたい。
前回の改善計画に対する取り組み結果	何度かご利用者、ご家族からスタッフの対応についての意見をいただくことがあり、その都度、どのような対応が望ましいのかスタッフで話し合いをしてきた。しかし、まずはそのような意見をもらってしまう支援の仕方、対応の見直しが必要でありそのことを起こってしまう前に気づくべきであった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？		7	1		8
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8			8
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8			8
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		4	4		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ○ミーティングや仕事中等でも意見を出し合い情報共有している。 ○地域に必要とされる拠点について福祉避難所の協定を結んでいる。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ○事業所のあり方を活発的な議論としてできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご利用者、ご家族、地域など事業所に対していただいた意見に向き合いスタッフでより良い運営になるよう取り組んでいく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	小池・若松・大塚・泰中生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		8			8

前回の改善計画

外部研修なども開催されてきている為、スタッフが参加できスキルアップできるよう取り組む。リスクマネジメントについてはヒヤリハット、事故報告にて原因・対策を検証すること。

前回の改善計画に対する取組み結果

外部研修は参加できそうなのは希望スタッフにて参加している。また内部研修は2か月に1回職場内にて実施している。事故は防げないこともあるが、想定できることやヒヤリハットにて気づくことが出来るものは検証や対策を立てて行ってきた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		7	1		8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	5		8
③	地域連絡会に参加していますか		2	3	3	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8			8

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 職場内研修は2か月に1回実施できている。
- 職場外研修は開催通知を貼り出し希望するスタッフは出来るだけ参加している。またホームに持ち帰り伝達研修を行っている。
- 個人的に資格取得の研修に参加している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域の連絡会はホーム長のみ参加している。
- リスクマネジメントについてミーティングで検証など行っているがスタッフのミスなど多く報告書を見るだけでなく意識していく必要がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

研修においては職場内研修も必修のものもあり年間を通して実施が間に合わなくなることが予想される為、法人内での共同の研修などで実施していく予定である。外部研修も積極的に参加できるように取り組んでいく。地域の連絡会などは今後はスタッフも一緒に参加出来る機会を設けられるように計画していく。リスクマネジメントは今後も継続してスタッフ間でしっかりと話し合いをし、検証していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月10日
9. 人権・プライバシー	メンバー	小池・若松・大塚・泰中 生田・一色・村尾・倉田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		8			8

前回の改善計画	虐待や不適切ケアにならないよう勉強会を定期的実施する。プライバシーや個人情報においてはご利用者の尊厳を守るため意識をしっかりと持てるよう取り組む。スタッフ間でご利用者について話をする時は離れて行うこと、大声で伝えない等の配慮をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	忙しくなるとやはり配慮に欠ける部分があり、スタッフ間で注意し合えるよう心がけた。しかし、「待ってください」など言ってしまっていることがあり、意識して取り組んでいても忙しさなどで配慮不足になる事もあった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	7	1			8
② 虐待は行われていない	7	1			8
③ プライバシーが守られている		8			8
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		4	1	3	8
⑤ 適正な個人情報の管理ができている		8			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ○身体拘束、虐待については勉強会を設けスタッフで意識をもって取り組んでいる。 ○個人情報の書類などは鍵付きの棚にて保管し、名前の記載のある物の処分はシュレッダーにかけるなど対応している。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること ○忙しい時に「待ってください」とだけ伝えてしまい理由を言わず不安にさせていた。 ○忙しくなるとスタッフの口調が強くなることもある。 ○スタッフの会話がご利用者に聞こえておりプライバシーが守れていない場面があった。 ○成年後見制度は活用されている方がいないため制度の理解ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)	引き続き、虐待や身体拘束、不適切ケアを起こさないように勉強会を行いスタッフの理解や共通認識ができるよう取り組んでいく。成年後見制度は、スタッフへ勉強会を通じて理解してもらうよう取り組む。(活用している方がいないから知らないでなく)
------------------------	---